

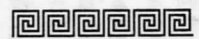


坂道 (森田たつゑさんと中野とみさん)



おやまだの坂道は

自然の恵みである



小山田は地名の暗示するように、もともと丘陵に囲まれた狭い低地の暮しであり、坂道の多い地区である。一つの町からもう一つの町に行こうとすると、必ず坂道がある。市民センターや小学校といった公共施設も坂道の傍らにある。同じ町内に

もやたらと坂道がある。(山田町、小山町) 万事この調子だから、坂道抜きにおやまだは語れない。坂道が多いということは、それだけ日常生活上不便である。老人、脚や心臓の悪い人などはたちまち困る。田畑への往復、

市街地への通勤、通学、急を要する消火活動には随分と能率が悪い。自然、外出がおつづくになり、文化にも出遅れ勝ちである。井戸の中の蛙になる危険性もある。その一方、おやまだの坂道は自然の恵みであって、それなりに効用もある。まず、坂道の生活は、平地に住む人よりも、健康、体力の面で優れている。最近はどこもかしこも、体力づくり、健康づくりのブームであるが、毎日の生活の中で、知らず知らず自然の坂道を歩くことはそれ自体運動である。おやまだ

の坂道の住人は、日常町内を歩くことよって、特別にお金と時間をかけないで、スポーツと同じ効果が得られるのである。ある実験報告によると、坂道を利用する人は、平地に住む人に比べて、「疲れやすい」「息切れ」「便秘」「胃の調子が悪い」「肩こり」「腰痛・肩痛など」の訴え率が少なかったといわれる。(科学朝日五五年二月号) 坂道は運動量が大きく、心肺機能、体力づくりに貢献しているのである。現に、鹿間町の子どもはバス通学によって、体力が減じ、病気になるか易くなったという。

さらに、坂道の効用は人間の文化(精神)にも及ぶのである。「山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかく人の世は住みにくい。住みにくさがこうじると、安い所へ引き越したくなる。どこへ越しても住みにくいと悟った時、詩が生れて、畫ができる」(草枕)とも書いたのは明治の文豪夏目漱石である。坂道を登りながら、漱石のようにカッコよく悟り、詩人や畫家をめざす心境には程遠い日々の暮しである。けれどもおやまだの先人は、各町(字)各話にみられるように、それぞれ特色ある文化(信仰、文化財、青年団活動など)を築きあげて今日にいたっている。坂道の恵みこそ、住人の生きがいの支えではないか。(中村)



を大切に

私の住む内山町をみても、善良な人々ばかりで、おだやかでまとまりがよいです。この特徴

ささいな、人口も増加して自治会運営においても難しくなっ

てきています。当地区には、将来の発展のために、従来から取組んでいる

ひとつに、「南北道路」の建設問題があります。地区を南北に横

ぎる道路が実現すると、小山田は大きく変わると思います。

矢田善（連合自治会長）

司会 矢田正（小P会長）

本日は、地区広報の創刊に際し、地区の将来や、課題などいろいろお聞きかせ願いたいと思

います。地区の皆様におかれましても、いろいろお考えいただき、ご意見をお寄せ願って、今後の自治

会運営に反映させていきたいと存じます。

ごあいさつ



小山田地区
連合自治会長

矢田 善 衛

新年を迎え、小山田地区の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は地区の発展に、なにかとご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて、当地区には二年前より諸団体連絡協議会が発足しており、今回地区広報創刊に際して、一月七日に協議会代表者による、暮しよい町づくりについての座談会を開き、ご意見をいただきました。

地区の皆様におかれましても、いろいろお考えいただき、ご意見をお寄せ願って、今後の自治会運営に反映させていきたいと存じます。

を生かし、地区の発展、暮しよい町にしていきたいと思

若者が 将来を左右する

津田（婦人会副会長）

地区の発展は、生き方に自信をもった前向きの人達、若者の考え方が将来を左右すると思

います。昨今、青少年の不良化、中学生の暴力事件が表面化して

おり、婦人、母親の立場でこの問題に取組まねばならなくなっ

ています。山家（子供会育成会長）

子供会活動は、一番地区との結びつきが強いと思

いますので、地区全体のバックアップをいただける

だけると、ありがたいです。須藤（老人会長）

高齢者教室を行なっています

が、各層の対話が広まるという意味で、老人以外からも参加

してほしいです。老人は気軽に話し合えることが、楽しみです

矢田勇（交通安全協支部長）

昨年、各町で法令講習会を開きました

が、集りもよく、その後、違反者も減りました

。今後、会員の協力にて、違反がないように、一層呼びかけを強め、交通安全に努力したいと思

います。矢田み（民生委員会）

地区の方々に、もっと福祉について関心をもっていただくようは

は、たまたまかけをしていきたいと思

委員に相談いただければありがたいです。

長谷川（青年会長）

小山田の青年団員は社交性、自主性に欠けていると思

います。例えば、市や県の青年団行

事に出たがらないです。もう少し

すすんで参加してもらいたい

です。もちろん、青年団活動に

ついて、親の理解も必要だと思

います。今後はもっと、地域に根ざ

した活動をしたいと思

います。矢田幸（体育振興会副会長）

体育振興会は、一部の中年層がソフトをして遊んでいるよう

に見られがちで、反省してい

ます。今後は卓球、山登りなど

市民が少しでも多く参加できる

スポーツを計画し、スポーツを

通じて健康保持に役立ってい

たいと思

います。小口（保育園母の会長）

子供達を保育園などで保育して

いただいています

が、その実、よく見わたしますと、物質的に

は恵まれた生活をしているようにみえます

何か落としものを している

子供をもつ母親は、身のまわりを

落着いて考える時期にきて

いると思

います。その為にも、市民センターなど

を利用し、精神面での充実や、心の豊かさが

も、何を

も、何を

も、何を



座談会

あまりにも急変する世の中であるので、ついていくのに精一杯です

。ぜいたくな暮らし、自由のはき違えなどがあちこちであります

中学生に 注目を……

中村（中P副会長）

中学生問題が大きくとりあげられています

。自分のことでは、思

って、他人のことまでは、思

って、他人のことまでは、思

って、他人のことまでは、思

って、他人のことまでは、思

って、他人のことまでは、思

って、他人のことまでは、思



地区諸団体連絡協議会座談会

あいらびのふれあい

の要望に答えることはできません。今のままでは、地区の方々の活動が低調になっていかなうかが、心配です。

清水 (山田町自治会長)

もつと地区の方々、農業のこと、社会の情勢など知る必要がなからうかと、思います。地区の発展には、新しいものをとり入れる必要もあります。今、山田町では団地化をすすめています。

佐野 (美里町自治会長)

お互いが、よくなり、よくしたいという願望は、皆さん同じだと思います。小山田のような未開発地区をよくしていくには、地についた考え方で進めていくのがよいと思います。このような話し合いが基となると思います。

テレビの影響が大きい

司会 いろいろ、ご意見ありがとうございました。次代を背負う青少年問題について、もう少しご意見をお聞かせ下さい。

中村 私達が将来を考える時、もつと後の世代がよくなることに焦点を向けておけば、間違いないと思います。すぐにはよくならなくても、そういう目でみんなが目を向けているのだというだけで、若い層はやりがい、生きがいがあると思います。

田中 今の社会はテレビの影響が大きいと思います。金八

丸市 (和無田町自治会長) 地区での、人と人とのふれあいが大切だと感じます。

平山 (堂ヶ山町自治会長) 今日、自治会の仕事は多種多様になってきています。行政からの伝達だけでは、地区の方々の

先生を見てみると、「ざわざわ」しているようですが、あれでよいのでしょうか。

矢田善 テレビで刺激的なドラマが多すぎます。

お年玉のことですが、相場が年々上がり、子供達もたくさんお金を持っており、ぜいたくしすぎると思います。親達の自重が必要だと思います。

親が子を かまひすぎる

清水 個々の親が、責任をもつて子供の監視をしなければいけないと思います。よその子には、なかなか注意など言えないものです。

田中 文化的になったと言えはよい言葉ですが、物はふんだんにあり、何不自由ない時代です。おのずと体を使わないの

で、楽をおぼえます。

子供達には、もつと仕事をさせなければいけないと思います。

矢田善 親が子供をかまひすぎると思います。モヤシのような子供をつくるのではないかと、心配します。

矢田勇 私の町で、親が全然子供をかまわない家庭がありましたが、今は立派に成長しています。私も子供を過保護にすることは、将来のためによくないと思います。

矢田幸 私が中学校PTA 役員の時、登校拒否で先生が手こずってしまい、親と話しても先生が悪い、などと話にならないことがありました。

その子は学校へ行きたいが、行ってもみんなが相手にしてくれないし、先生も逃げるというケースを経験したことがあります。要は、非行だから悪いとか、あたりさわらず対応することが多いですが、

学校も努力し周囲の人も暖かい目で、親になつた気持ちで接するこ

とが大

事だと思

いませ

す。

老人福祉は 知られていない

司会 青少年以外にとりあげたい問題がありましたらどうぞ。

津田 地区で寝たきり老人のお世話を、安い費用でしていただける制度を設けることができないうか。

伊藤 (母子福祉会長) 母子家庭には、介護人制度があり、病気になるれたら、二三日ですが介護します。時によつては、近所の人にも頼めます。このさいには、市から手当がで

ます。

矢田み 寝たきり老人のために、移動入浴車もあります。伊藤 福祉関係のいろいろな制度は、市の広報にも載りますが、読む人が少ないのか案外知られていないようですね。

矢田み ホームヘルパー制度は、どこでもというわけにはいきませんが、本当に困っている時には派遣の対象になります。

各層間の交流を

司会 地区活動をもつと盛んにするには、どうしたらよいとお聞かせください。

矢田善 講演会など催しても、集まってくる人が少なく、もつと参加者を増やす方法を考えたらと思います。

丸市 地区運動会でも、何月何日に実施すると、年度初めには決めておいた方がよいと思います。各町の行事と重なることが多くありますから。

中村 親と子供とか、安定している人は種々の行事に参加できますが、中間の者が何を

してよいかか問題です。昔は年代各層で地区内のいろいろな行事がありましたが、今はありません。中学、高校生はその時(行事)何をしたらよいか手持ちぶ

さたになります。つい、タバコや酒など非行に走ってしまいます。この層をどう参加させていくか考えなければいけないと思います。

山家 地区内の各層間の交流をもつと積極的にしたいものです。

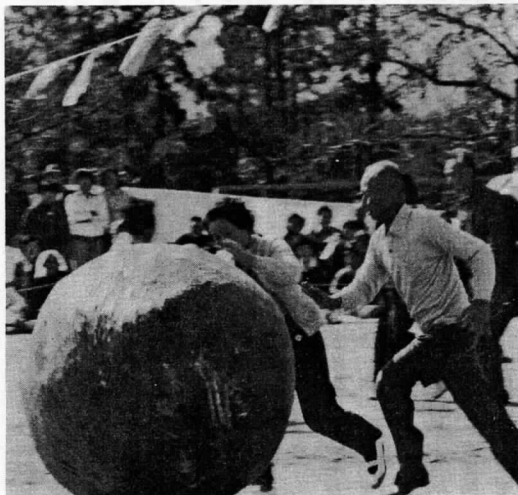
シンボルマークをつくろう

矢田幸 シンボルマークの一つとして、地区旗をつくつたらどうでしょう。団結面でもよいと思ひますが。

司会 まだまだご意見はあ

ると思ひますが、この辺で終りたいと思ひます。どうもありがとうございました。 (座談会一部掲載)

文責は編集委員会



老人会の大玉ころがし



各町 各話

六名町

文・田中弘治郎

光輪寺

六名町は、内部川左岸の小高い丘に集落があり、勢洲北和田之郷六名村字中村と、往古より



獅子舞 神楽奉納

言われていたが、いつの時から六名と呼ぶようになった。

内部川の鉄砲水による水害と旱天による不作、疫病の流行、年貢米（幕府上納割当）の過酷な負担を背負わされて、農民は生きてゆくのが精いっぱいだった。

生きるために神に祈り、仏にすがって家庭を守りつづけていた。

五百五十余年の昔、真宗高田派の高僧、真慧上人が当地にご巡教の時、光輪寺の宝として拝むようにと、「南無阿弥陀仏」の名号をご染筆して、同行に賜わっている。（元龜二年八月二十二日） それ以来、信心堅固な光輪寺同行一同の支えとなっている。（寺宝として現存）

その後、天保初年の大地震により本堂が倒壊した。当時一六戸の同行が一致団結、苦心さんたんし、再建に尽力した結果、七年後に、現在の本堂が完成した。六名町の先祖の果した一大事業であった。

獅子舞神楽

年々歳々上納米の完納には、あらゆる苦難に遭遇していた。鉄砲水による堤防の欠壊、疫病による労力の不足など、かぞえきれない苦しみに堪えぬく力に力を添えるのは、目に見えない尊い神の守護であった。

宝歴二年正月、氏神、須賀神

社での神酒直会の席上、氏子の発案で獅子神頭を造って神楽を奉納して、神慮をなぐさめ、郷土の発展を祈ることに決まった。そして一年後には今ある椿の本取の神頭が完成した。

- 獅子神楽は、神鉦、獅子頭、福取、後舞、鼓、太鼓、笛の七人役で構成されている。優雅な笛の引導音にみちびかれた神頭は、次の十種の舞からなりたっている。
- 初段目：大抜
- 二段目：皇室のご繁栄
- 三段目：天下泰平
- 四段目：悪疫退散
- 五段目：健康長寿
- 六段目：郷土の繁栄
- 七段目：万難対向
- 八段目：五穀豊穰
- 九段目：七難退散
- 十段目：（花の舞）

感謝報恩

このような祈念の神舞の伝授をうけて以来、二百三十余年間舞楽を維持保存するため、各戸の若衆（昔は元服時、今は中学校卒業時）は、必ずこの楽会に入会して、厳格な指導のもとで数年間練習をつんで一人前に一役を負うだけの力量を、修得するのである。

古来、六名町が何度か大災厄に遭遇しても、平穩に乗り切ってきたのは光輪寺に古来奉安する釈迦仏の功德と獅子神楽の神恵によるものといわれている。

堂ヶ山町

文・奥村 武雄



遠生寺

堂ヶ山町の遠生寺は、逝水院川見山遠生寺といい、天台宗派の妻帯を許さない雲水寺で、その後浄土真宗高田派にかわり、現在は浄土宗の末寺である。

江戸時代、堂ヶ山町の門徒は浄土宗への改宗を願い、いろいろ苦心したが、その許可を受けるのが難しかった。

当時の庄屋、現在の打田家曾祖父は、村人達の意をうけ、江戸へ直訴の旅に出た。そのためか、後に浄土宗への改宗が認められはしたが、庄屋はこの地へ帰らぬ人となった。

そこで村人達は、遺族に田一町歩を贈りねがらい、年二回の彼岸会には、庄屋の冥福を祈ったものである。

また当時田畑をもつ農民は、

大名への使役として、労力の提供が義務づけられていたため、それが嫌さに、田畑を寺に贈り小作となる者が多かった。そのため、遠生寺は昭和20年頃までは、年貢米が百俵以上だったといわれる。

いぼの神さん

堂ヶ山町山神の山林に、庚申地蔵という地蔵があり、一般には「いぼの神さん」として近郷の参詣者が多い。

その地蔵は、人間の身体にできるいぼを治すといわれ、参詣者はその地蔵を倒して、願をかけていく。そして治れば赤飯をお供えして、倒した地蔵を起してお礼を申すのである。

参詣により治った人も多く、いつも地蔵さんは倒してあり、起きてるのは正月ぐらいといわれている。



青年会の風習

明治の末より、義務教育を終えた男子は青年会に入会する。青年会は元老、中老、日若い衆からなり、会長、幹事が運営し二十五才になると退会する。

青年会の規律は厳しく、集会には全員緊張し、相談事は真剣そのものであった。会合に出席すると目上に対し、手をついて挨拶し、日若い衆は終始正座し拝聴したものである。会議中にもおならでもしたら、真ん中に座らされ、意見されて、平身低頭謝ったものである。その謝り方がまずい時には、夜中でも親類縁者を頼んで謝ったもので

眼病の観音さん

堂ヶ山町北部にある墓地の近くの坂道に、泉が湧き出る観音堂がある。

この泉は、どんな旱天の年でも、涸れたことがなく、人々から不思議な神の水として、飲まれている。

また、迷信かわからないが目の病気によく効くといわれて附近の目の悪い人々が、この水を求めてやってくる。しかし一説



眼病に効く観音堂

ある。

今の堂ヶ山町の青年会には、昔の風習が守られている。友達を結婚すると、全員がその家庭を訪問し、規則正しく挨拶し、喜び歌(後掲)をささげて喜びあい、祝われて成人の仲間入りをするのである。

祝歌 (元小山田小学校訓導)

今日のよき日は我々のいとしたしき友だちの、をしのちぎりのその式をあげさせたまう良き日なり。



には、この水、五十メートル上にある墓地の水ではないかということだ。

堂ヶ山町は、現在も土葬の慣習があり、その死者の肉と血が土中からしみ出した水ではないかと、いわれている。

鹿間町

文・近藤 正信

鹿間町今昔

水を治む者、よく国を治むとは、国政人の後世に残した言葉である。鹿間町にもその一端がうかがえる。ここで内部川にかかわる地区の歴史を紹介してみたい。

古老によれば、内部川のほとり下鹿間にあった時に、何回となく内部川がはんらんしてその都度、部落に大きな被害をもたらしていた。明治二十六年の美濃大地震、明治二十九年の大洪水により、家は倒壊流失、田は瓦礫と化し住民は途方にくれ、住みなれた土地を離れざるをえなくなり、上鹿間と北山へ、移住し始めた。そのため下鹿間にのこったのは、海善寺と数軒の民家だけとなった。

この海善寺を上鹿間に移設した当時の再建計画文書が、のこっており、その一部をそのまま書いてみよう。

「当時本堂は古より字下鹿間に在り明治二十九年大水害の際、人家田圃半ば流失し住民多く上鹿間に移転して当寺のみひとり旧地に残存せり爾來門徒往來不便にして來詣の諸人漸く稀に寺觀また荒廢の運に向えり此に於て門徒一同相談し此度上鹿間へ移転の企に着手せり既に全力をつくして資材を投ずるも何分出費多額にして到底門徒の力のみを以てしては基の企望を遂ぐる能はず茲に已むなく一般有縁人々に曰く広く御隨喜御助力を請う次第なり」

明治四十三年 海善寺世話方一同 この願いは、隣接地区の心をうごかし、六〇余村の協力と浄財により総工費七百九十三円をかけ現在の海善寺の完成をみたもので、鹿間町の文化財としてまた私達の先祖の偉業として誇りとするところである。

また、天保、安政の頃より内部川流域水源争いや、内部川護岸と橋梁の確保など農民が水と闘ってきた、わすれることのできない史実がある。

私達は先祖の遺業を無にすることなく、将来にむかって地域農業の発展を願ひ、飛躍を夢みるのである。

小山町

文・豊住 勲

ほら貝の口伝

小山町に古来よりつがれている胴回り四十五センチ、長さ三十センチのほら貝があり、今も神明社の祭礼の時刻等の知らせに使われている。

その昔、当地に高さ約三十メートル、巾約百五十メートルのコラダの崖という絶壁があり、



小山のほら貝

その下を足見川が流れ、山田町を経て波木町に至っている。その崖の中腹に洞穴があり、往年の大洪水でこの洞穴が崩れ、ここから出土したほら貝が、洪水で流され波木町で拾われ、吹いてみたら「小山へ帰りたい」と泣いたそうで、それ以後小山町の貝として伝えられている。

また、ほら貝は、町民の非常召集にも使われ、洪水で橋梁が危険な時に、吹き鳴らすと橋が流れずにすむといわれている。

私達はいつも明かるく、楽しい生活をおくりたいものです。しかし不幸にして生活の中心をなす夫に離別して母子家庭になると、社会的にも、経済的にも多くの苦しみがまっとうけていますが、これらの苦難にうちかち、母と子がしっかりと手を取りあい、健全な家庭をつくりあげてほしいと思います。

年々、社会福祉制度が充実され、母子家庭を対象にした社会福祉金庫や、母子福祉資金の各種の貸付制度があります。

また医療面では、保険により支払った自己負担分が助成される制度や、母親の一次的疾病により、日常生活に困るような家庭に介護人を派遣する制度もあります。

その他、いろいろな福祉制度がありますので、左記の母子協力員がご相談に応じます。お気軽にお尋ねください。

堂ヶ山町 市川えつこ ☎三三三
山田町 伊藤江美 ☎三三三

母子家庭の相談は

小山田が好きである

坂 徳子

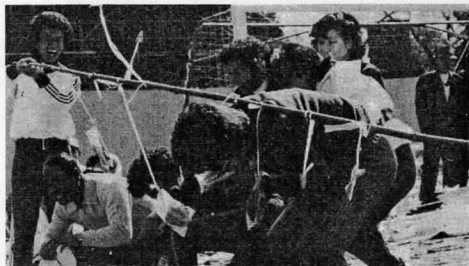
灰色ばかりで塗りつぶした『10年後の小山田』と題して書いた絵を、思い出した。

四日市の公害問題が、大きくクローズアップされ、小山田もいつの日か薄汚れた町になるかもしれないと、想いかいた絵である。しかし10年を経ようとする今日も、ほとんどその情景が変わることなく、やはり、『田舎だなあ』と思わせられる。

『小山田』茶畑と稲田、そして森林に囲まれた町。地味でこれという特色もない。ただ昔から絶やすことなく受継いでいるにすぎない。

それは人々が温厚で人情に厚く、先祖を大切にするといった人柄だからこそ、受け継がれてきたのだと思う。

反面、融通が利かず、ことごとくに世間体を気にしすぎる。こ



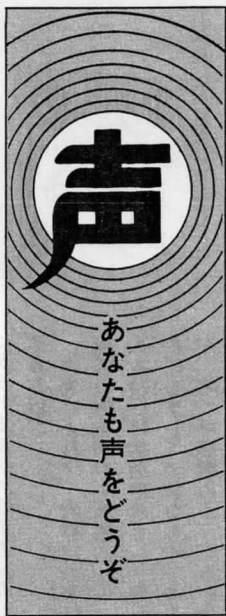
青年会バン喰い競争

ういう点は、私の両親に限らず多くの人がそうではないだろうか。

小山田に、何年がかりかで、ほぼ中央に広い道が通じた。この道がこれからのように変えていくか。もしかすると穏やかな人々が、熱くならなければならぬ。我々の生活にどのような影響を及ぼすのだろうか。興味深いものである。

いずれにしても、私はここが好きである。また私にはここが一番似合っている。あたりまえかな……ずっとここで育ってきたのだから……。

もしこの地を離れても、やはり私の根本は変わらないと思う。



あなたも声をどうぞ

青年団の魅力

森田有子

こんな気持ちでいいのだろうか……。

小山田に生まれ育って二十年。だけと改めて小山田をどうのこうのと、考えてみたことはないし、強い関心をもったこともない。

自分にとっては、どうでもいいこと……、なるがままに……

市民センターの利用

瀬古 昭子

長い間、小山田住民に親しまれてきた役場（出張所）が、新らしく市民センターとして建設されました。駐車場も広く、利用しやすくなりました。

建物を見ると、一階に広い和室、二階に調理室・図書室・会議室があります。私はまだ利用したことはありませんが、地区民が利用するには本場に立派な施設であると思います。

センター発行の「おやまだ」を見ますと、色々なグループ活動や、講演会等が行なわれてい

るようですが、当地区は広く、センターまで行くにも山あり、谷ありで活動には少し条件が悪いように思います。

そのうえ、昔とちがいが、家庭も共働きの多く、よいことわかつていても、参加するには勇気がいりますし、家庭の協力もいります。

色々なことを習ったり、お話を聞いたりすれば、心も豊かになり、少しでも楽しい日々がおくれると思います。

私は字が下手なので、ペン習字を習いたいと思っていますが、夜に行なわれているので、とまどっています。私と同じ考えの方も、多くいられることと思います。

でも、勇気をもって色々な活動に参加しようではありませんか。

豊かな家庭は健康から

樋口よしる

平素は地区婦人会活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

先日、市の社会福祉事務所の案内で、市内の各地区婦人会長と、老人福祉施設を訪問しましたが、この時ほど私は「毎日が健康で過せることはありがたい」と思ったことはありませんでした。

老人の福祉については、当地区には、県下でも初めてといわれる老人総合福祉施設が、川村



ミルクロード

主婦と読書

矢田日出子

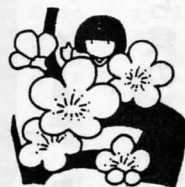
先日、ある本を読んで素晴らしい感動をうけた文章に出会いました。このように素晴らしい本に出会うには、どうすればよいか、新聞の例で考えてみたいと思います。

新聞の場合、政治面で世界の動静を大体つかめばよいとして、文化、教育、家庭欄を主婦としては重点をおくべきでしょう。今、時間がなく読めない時は、数日分残しておいて後でまとめ読みします。そして、そこで感動した文や覚えておきたい知識があったら、ちよっとした紙に書いておきます。そうすれば、頭の中を通りすぎていくだけでなく、くりかえしみることもできると

思います。雑誌も同じことが言えるでしょう。これはと思う記事は、切り取って残しておく心がまえが雑誌の価値を何倍かにすることでしょう。今はスーパーでも売っており、配達もしてくれま

ます。家庭を守る主婦として、広い視野に立った人間になるため、読書の重要性を認識し、毎日大切に生きてゆきたいと思

います。



昨年八月二十六日、市民センターにて、市長と地区の自治会長、諸団体代表による懇談会が開催され、市長の市政概要説明のあと、次のような質問、答弁がなされました。

【問（小PTA会長）】

ミルクロードは、南部埋立処分場の開設により交通が頻繁で通学上危険箇所が多い。

①堂ヶ山町からの横断箇所
に信号機を。

②美里町からの横断箇所に
歩道橋を。

③適所に街灯設置
を。

【問（市民部長）】

〇六名町の既設の他にも一箇所横断歩道を設置する予定。また、美里町にも設置できるように県に要請する。

〇信号機は、今は難しいが、県に要望する。

〇防犯灯は、地元で設置した場合、一部助成する。

【問（小PTA会長）】

小学校の汚水排水は山林に流しているのだから、抜本的対策を。

【問（教育長）】

いつまでも、この方法をとっていく考えはなく、木造教室の改築とあわせて、排水経路を考える。

【問（和無田町自治会長）】

和無田町の排水整備が不十分で、床下浸水が絶えない。

【答（総務部長）】

現地を状況調査のうえ、整備について相談したい。

【問（遺族会長）】

大四日市まつりを、市全域から地区の芸能等をもちより、交流を深めるまつりに発展を。

【問（産業部長）】

大四日市まつり企画審査会を設け改善を行った。
〇文化都市四日市をつくる大四日市まつり。
〇幅広く各町からの代表者からなる実行委員会を組織。

〇開催日を八月第一土・日曜日を含む三日間。

〇各地域の芸能等参加させる。

【問（鹿間町自治会長）】

フラワールロードの計画内容は、

【問（産業部長）】

六名町、鈴鹿、亀山、関へ通じる道路で建設省、農林省所管で、市道ではなく、ミルクロードのようなものである。東名阪国道のように地区にあまり利益にならないことはない。近々関係地域に計画説明会を行う。

【問（消防団長）】

簡易水道の容量不足で消火栓がつかない。上水道となった場合、消火栓の設置を。

【問（市長）】

わかりました。

【問（中PTA副会長）】

堂ヶ山、和無田、鹿間各町からの中学校通学路のうち、ミ

市長との 地区懇談会から

ルクー西山町間の道路拡幅と除草回数を増してほしい。また防犯灯も。

【問（センター館長）】

自治会長と相談していただきセンターへ申し出てほしい。

【問（婦人会副会長）】

桜財産区に大学誘致の話があるが、その計画はどのようか。

【問（市長）】

二十五万都市で大学がない都市は少なく、文化都市への発展のためぜひ誘致したい。今年国土庁の調査対象に含まれており、一歩前進したと思う。

桜財産区は、アスレチック、大学の他に土地は十分にありスポーツ、レクリエーション施設を考えたい。

子ども会活動

子供会育成会

子ども会活動は、地域社会における年令の異なった仲間との集団活動によって、社会性を身につかせ、心身ともに健全な子どもの育成を目ざしている。

地区子ども会では、年間を通じてソフト、フットボール大会、キャンプ、ハイキング、オリエン

テリング大会、地区運動会や防火ポスターコンクールなどを実施している。

また、各町子ども会では新入生歓迎会、夏休みラジオ体操、盆踊り、クリスマスパーティーやお別れ会など各町独自の活動を行っている。

一方、これらの行事活動の他に、日常の練習や訓練を主体とする次のクラブ活動を行っている。

- 1、鼓笛隊
 - 2、サッカー少年団
 - 3、バトックラブ
 - 4、少年消防クラブ
- 子どもたちは、将来の地区の担い手となる貴重な宝である。小山田の豊かな風土と、あたたかい人情のなかで見守り育てていきたい。そこで子供会活動や青少年の育成に興味ある方、経験のある方はぜひ協力を、お願いしたい。

小山田の人口は5,429人です。(S.55.10国勢調査概数)

■町別人口と世帯数

町名	世帯数	人			計
		男	女	合	
山田町	445	875	1,062	1,937	
西山町	129	258	292	550	
小山町	139	295	313	608	
内山町	47	104	112	216	
六名町	43	92	97	189	
堂ヶ山町	98	228	247	475	
美里町	27	76	65	141	
鹿間町	217	443	455	898	
和無田町	90	201	214	415	
計	1,235	2,572	2,857	5,429	

前回(S.50)より222人の人口増、市で12番目の増加地区

■年令階層別人口

	人口総数	0~14才	比率	15~64才	比率	65才以上	比率
四日市市	255,442人	63,499人	24.9%	169,705人	66.4%	22,238人	8.7%
小山田	5,429人	1,145人	21.1%	3,345人	61.7%	939人	17.2%



大四日市まつり参加の鼓笛隊

思い出多い

講堂姿消す

大正十三年、ときの東宮殿下御成婚記念事業として、小学校に雨天体操場、兼講堂の建設計画が立てられ、(総工費一万三千二百一円)昭和二年三月落成しました。この建物は、当時としては近代建築で、近郷から多くの人々が見学に来られたこともありました。

当時の村長は市川己之松氏、学校長は辻幸四郎先生で、以後五十三年間小山田の教育に果たした役割は、大きなものがあり、卒業されたみなさんにとって、かずかずの思い出があることと思えます。

このたび、学校施設整備の一環として、本年三月完成予定の屋内体育館を建設中です。このため、取壊わされ五十三年間の歴史を閉じました。

地区諸団体

連絡協議会とは...

地区内の諸団体の連けいを推進する母体で次の団体が加入して、地域社会の発展に寄与することを目的とした協議会です。

- 〇連合自治会
- 〇婦人会
- 〇母子福祉会
- 〇老人会
- 〇子供会育成会
- 〇交通安全協会
- 〇小学校PTA
- 〇中学校PTA
- 〇体育振興会
- 〇連合青年会
- 〇消防分団
- 〇保育園母の会
- 〇民生委員会

—地区市民センターのご案内—

あなたの まちづくりの拠点

四日市市は“緑と太陽のある豊かなまちづくり”を推進するため、対話と調和のとれた地域社会づくりの拠点として、従来出張所と公民館機能をあわせもつ小山田地区市民センターを、昭和53年度に発足させました。

その業務の概要は、行政一般の窓口サービス、地域振興業務、社会教育業務で、行政とみなさんの出会いの場、地域の諸活動の場として発足以来その利用も高まっています。

従来の地区市民センターは老朽のため、昨年4月に小学校跡地に消防分遣所とともに改築しました。施設の主な内容は、一階に事務室、会議室、和室、二階に大会議室、図書室、調理室等となっています。

今後、よりよい地域活動の場として大いに利用されることを願っています。



改築された小山田地区市民センター

★社会教育業務

みなさんがよりよい地域社会づくりに、すすんで参加していただくために教育、文化、スポーツ、レクリエーション等の幅広い学習と活動への機会を設けたり、自主的な地域活動の育成を進めていくのが、社会教育業務です。

その業務の主な内容は次のとおりです。

●学級・講座

今日のように変化が激しく複雑で、人間性を無視した社会では、私達は常に新しい知識、技術や教養を身につけ、社会性や市民意識をもった人間になるよ

★地域振興業務

よりよい地域社会づくりを目指すため、各種の相談や、行政への参加を求めるための広報、広聴活動をするともに、みなさんの集約された意識を基調として、地域の課題への対応と、地域の連帯に根ざした諸活動の推進、援助に重点をおき、みなさんの参加をえて個性ある地域社会づくりをすすめるための業務です。

★窓口サービス

いままで出張所として取り扱っていた戸籍、住民登録、印鑑証明、国民保険、国民年金、市税等の行政窓口業務です。

お願い

印鑑登録証明書の交付申請を本人にかわって代理人がするときは、次のものが必ず必要ですのでご留意下さい。

- ①代理人の印鑑 ②本人(登録者)自筆の委任状(代理権授与通知書)
- ③印鑑登録手帖

なお、代理権授与通知書は委任状にかわるもので本人が自筆にて全部記載することになっております。用紙は、地区市民センターにありますがお急ぎのときは、印鑑登録手帖の最終ページに見本がありますのでご覧下さい。

う心がけなければなりません。

そこで地区市民センターでは、家庭、社会での生活に役立てていただくよう消費生活の知識、健康の知識や地域共通の課題等身近な問題をとりあげた学級講座を実施しておりますので、お気軽にご参加ください。

また、内容についてのご意見もお寄せください。

●図書貸出

ひとりでも多くの人が、よいに親しんでいただくため、子供から成人までが楽しめる図書(川村文庫)を、昨年6月より貸出しています。今後、順次蔵書数をふやし内容を充実させていきますのでご利用ください。

貸出日

子供：火・金曜日

成人：日・祭・土曜日

曜日の午後を除く毎日

●グループ活動

七つの同好グループが、親睦をはかりつつ和やかな雰囲気の中で、活発な自主活動を定期的に行っています。一度、見学していただき入会ください。

(下表参照)



◀グループご案内▶ あなたもどうぞ!!

グループ名	活動日	グループ名	活動日
生花・茶道	毎火曜日 夜	書道	第2・4 金曜日夜
民踊	第1・3 水曜日夜	ダンス	毎土曜日 夜
詩吟	毎木曜日 夜	生花	第1・3水 曜日午後
民謡	毎木曜日 夜		

詳しくは地区市民センターへ



栄養教室(実習)

編集後記

地区広報第一号をお届けします。とても皆さんに満足していただく内容のものではありませんが、今後共、ご期待にそえるよう頑張りますのでよろしく。ご意見がありましたら投稿してください。

(編集委員一同)